

No. 1507

## 下町の夏

東京・下町の夏を彩る風物詩「入谷の朝顔市」が台東区の鬼子母神・真源寺で7月6日から開られました。

今年は台風6号や長雨の影響で開花は遅れ気味。でも売り上げは上々の様子です。

一方、7月9・10日浅草名物「ほおずき市」も浅草寺境内に千軒を超える露店が並び赤いほおずきの実と江戸風鈴の音色をひびかせ一足早い夏を告げていました。

この日にお参りすると四万六千日も日参したと同じ御利益にあずかれるとあって境内は善男善女であふれていました。

## 川をきれいに

— 静岡・伊東 —

7月は河川愛護月間。静岡県伊東市の中心を流れる松川は市民のいこいの場所として親しまれています。

「わたしたちの松川をきれいにしよう」を合言葉に松川をきれいにする市民の会が30年前につくられ毎月一回、会員が松川の清掃を行なっています。

今月も会員30人が台風後の水かさの増した川の周辺を清掃。市のゴミ運搬車に木材やビンなどのゴミを積みこんでいました。

春・秋にはボーイスカウト、地元青年会等も参加して上流から下流にかけて大規模な大掃除をしています。

このきれいになった松川で恒例の「松川トライ乗り競争」が市民を始め観光客、団体、外国人も参加して7月7日開られました。

今年で29回目を迎え出場希望者が多くて事務局も嬉しい悲鳴を上げているとか。「松川トライ乗り競争」も川を愛する市民と観光が協力しあい伊東の名物となったようです。